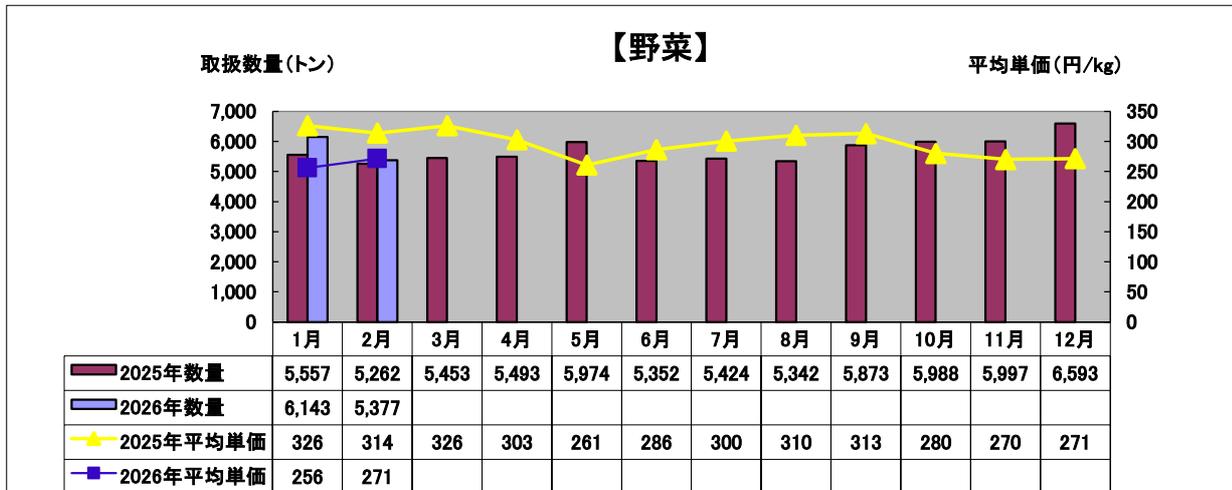
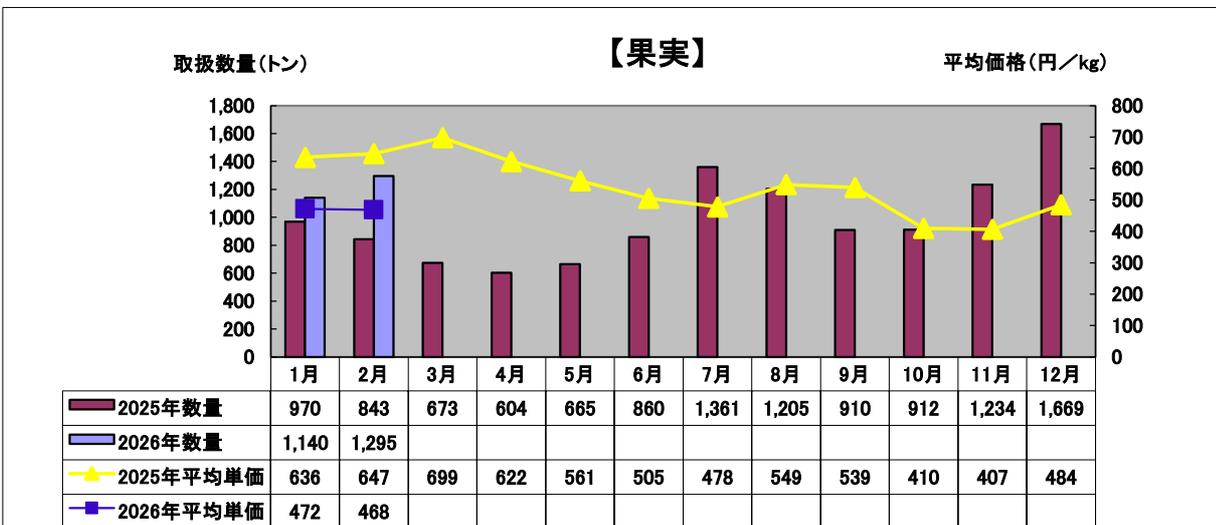


令和8年(2026年)2月 青果部種類別市況



キャベツ・白菜・大根を中心とした重量野菜の潤沢な入荷や、量販店の決算などにより荷動きが鈍く、単価は低迷しました。数量は平年並み、平均単価は安く推移しました。

前年比数量 102%、平均単価 86%で終了しました。



前年度の不作であったいよかん・ポンカン等の中柑橘類が平年作以上となりました。イチゴも機構が温暖であったことから、2月としては数量が伸びました。数量は大幅に増加、平均単価はかなり安く推移しました。

前年比数量 154%、平均単価 72%で終了しました。